Directive Short Wave Antenna, 1924

指向性短波アンテナ (八木・宇田アンテナ) 仙台支部 (受賞時:東京支部)

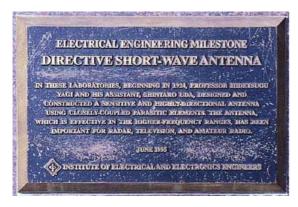
1924 年、東北大学の八木研究室から生まれた高感度・高指向性アンテナで、レーダー、TV、無線通信などの高周波領域の進展に大きく貢献し、現在も世界各地で活躍している。1995 年に Milestone に認定され、Citation を刻んだ銘板は東北大学片平構内に飾られている。

<u>Citation (銘板に鋳込まれた碑文)</u>

In these laboratories, beginning in 1924, Professor Hidetsugu Yagi and his assistant, Shintaro Uda, designed and constructed a sensitive and highly-directional antenna using closely-coupled parasitic elements. The antenna, which is effective in the higher-frequency ranges, has been important for radar, television, and amateur radio.



除幕式の行われた 東北大学 片平構内の会場





銘板とそれが填め込まれた片平構内の記念碑

受賞の経過

- 1) Proposal Form 提出: 1993 年 5月 26日、Nomination Form 提出: 1993 年 11月 12日
- 2)審査を経て、1994年12月6日 IEEE Executive Committee で最終承認日された。
- 3) Dedication Ceremony: 1995年6月17日、東北大学片平構内にて記念碑の除幕式が行われた。
- 4) 記念パーティ:除幕式の引き続き、仙台国際ホテルにおいて記念パーティが開催された。